

2024 年度 青森中央学院大学 アセスメント報告書

2025 年 10 月 1 日版

※評価の括弧書きの年数は点検の周期

テーマ I	「3つの方針」を通じた学修目標の具体化		
実施目的	3つの方針を起点とした教育の内部質保証を目的として、アセスメントプランに則った教育の成果を点検・評価する。		
大学全体レベル	評価項目	評価	
	アセスメントプランに則り教育の成果が点検・評価されているか	教学マネ委員会(毎年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アセスメント実施要項に基づくアセスメントプランに則った点検・評価を実施し、報告書を HP に掲載</li> </ul>
	学位プログラムが点検・評価されているか	教学マネ委員会(5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>教学マネジメント委員会において点検・評価を行い、教授会に報告</li> </ul>
3つの方針が建学の精神や教育理念に基づいて策定されているか	教学マネ委員会(5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>教学マネジメント委員会において、3つの方針、教育理念の検討を行い、一部変更を加えるとともに、建学の精神との整合性を検証</li> </ul>	
学位	「卒業認定・学位授与の方針」における学修目標は、適切かつ明確な観点に基づいて策定されているか	学部(5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023 年に学位授与方針を見直し、学部の理念・目的に合致していることを確認して簡潔明瞭な表現に修正した。学修目標は、適切・明確に策定。</li> </ul>
	学生に授与する学位の名称に対して、学修目標・学修内容が適切なものとなっているか	学部(毎年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営法学部は学士(経営法学)を、看護学部は学士(看護学)を授与している。</li> <li>学修目標は「卒業認定・学位授与の方針」に則って適切に定められており、学修内容はシラバスにおいて「卒業認定・学位授与の方針」との関連を明確にしている。</li> <li>「カリキュラムマップ」において「卒業認定・学位授与の方針」と各科目群との対応を明示している。</li> <li>経営法学部の学修内容は「分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準—サービス学分野」を参照している。</li> <li>看護学部学修内容は看護学モデルコアカリキュラムを網羅するとともに、「国際医療論」「医療経済学」「キャリアアップ特論 I・II」など</li> </ul>

			独自科目もカリキュラムに取り入れている。また、保健師助産師看護師学校養成所指定規則及び看護学教育モデルコアカリキュラムを踏まえている。
--	--	--	---

テーマⅡ	授業科目・教育課程の編成・実施		
実施目的	「卒業認定・学位授与の方針」に定められた学修目標を達成するため、体系的かつ組織的な教育課程が編成されているかを評価する。		
レベル	評価項目	評価	
大学全体	教育課程が、「卒業認定・学位授与の方針」や「教育課程編成・実施の方針」を踏まえ体系的に編成されているか	教学マネ委員会(毎年)	・ 教学マネジメント委員会において、カリキュラムマップおよびカリキュラムツリーを中心に DP、CP との整合性を検証し、結果を「教学マネジメント関連 FD」において教員との共有を図った。
	教育課程が学生の学修意欲を保ち、密度の濃い主体的な学修を可能とするものとなっているか	教学マネ委員会(毎年)	・ 自主的学習や予習・復習についてシラバスに明示し、「授業改善アンケート」において学習時間を把握した。
	適切な履修指導が確保されているか	学務委員会(毎年)	【両学部共通】 ・ 学期毎に各学年のスケジュールに合わせて始業ガイダンスを実施。 ・ 学務課による履修登録のチェックを実施。 【看護学部】 ・ 必要に応じて、学務課・学年アドバイザーより個別指導を実施。
	シラバスが適切に作成されているか	学務委員会(毎年)	【両学部共通】 ・ 「シラバス作成の手引き(2024 年度版)」を基に作成するよう教員に周知。 ・ チェックリストを基に教員各自でチェックしポータルサイトに掲示後、学務委員会で最終チェックを実施。
	キャップ制度が適切に運用されているか	学務委員会(毎年)	【両学部共通】 ・ 履修登録修正期間に学務課でチェックしており、上限を超える学生はなかった。
	学生の学修の幅を広げるような教育課	カリキュラム検討委員会	【経営法学部】

	程が構築されているか	(毎年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学修の幅を広げることを目的に、履修モデル(企業法務型、ビジネス実践型)と学修プログラムを設けている。</li> <li>・学修プログラムは、グローバル人材養成、データ分析実践に加え、2024年度より、日商簿記検定取得プログラム、公務員人材養成プログラムを新設している。</li> </ul> <b>【看護学部】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省の看護学教育モデル・コアカリキュラムの内容を網羅する教育課程となっている。</li> <li>・保健師教育課程を選択制とし(選抜試験あり)、看護師と保健師の両方の国家試験受験資格を得られる。さらに保健師教育課程を修了した学生は、養護教諭二種免許、第一種衛生管理者を取得できる。</li> <li>・専門科目の中に「グローバル科目」を設置している。</li> </ul>
学位	授業内容が、「卒業認定・学位授与の方針」を踏まえ、「教育課程編成・実施の方針」に従って計画されているか	学部(毎年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育課程編成方針」において、「卒業認定・学位授与の方針」と各科目群との対応が明示されており、授業内容との関連を示すものとして「カリキュラムマップ」・「カリキュラム・ツリー」を作成し学生、教職員に周知している。</li> <li>・「卒業認定・学位授与の方針」と授業内容の関係をシラバスにおいて授業ごとに明示されている。</li> <li>・「卒業認定・学位授与の方針」を実現するための授業の具体的方法について、「教育課程実施方針」において定め、学生便覧において学生、教職員に周知している。</li> </ul>
	「卒業認定・学位授与の方針」に設定された各観点を満たす上で必要な授業科目が過不足なく設定されているか	学部(5年)	<b>【経営法学部】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムマップに基づく授業科目が、「卒業認定・学位授与方針」の観点を満たして設定されている。</li> </ul> <b>【看護学部】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムポリシー・カリキュラムマップ・指定規則との対比表により、授業科目が「卒業認定・学位授与方針」の観点を満たして設定されている。</li> </ul>
	各授業科目相互の関係や、学位取得に至るまでの履修順序や履修要件が適切に配置されているか	学務委員会、カリキュラム検討委員会(5年)	<b>【経営法学部】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目の相互関係や学位取得に至るまでの履修順序を点検し、カリキュラムツリーを作成。</li> <li>・科目の履修要件については、各科目のシラバスに明記されている。</li> </ul>

		<p><b>【看護学部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2025 年度新カリキュラム開始に伴い、「カリキュラムツリー」の見直しを実施。</li> <li>・保健師助産師看護師学校養成所指定規則に従っているため看護の各専門領域の順序性は担保されるが、横断的な順序性について見直しと検討を行い、新カリキュラムを策定し、文部科学省の承認が得られた。2025 年度から適用。</li> <li>・カリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリーを作成している。</li> <li>・各領域の実習に履修要件を設定し、順序性を担保している。</li> </ul>
「カリキュラムマップ」や「カリキュラムツリー」が、学生にわかりやすい形で提示され、履修指導に活用されているか	<p>教学マネジメント委員会、カリキュラム検討委員会（毎年）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムマップを学生便覧に掲載し、カリキュラムツリーとともに、学期はじめのガイダンスにおいて学生に説明</li> <li>・「カリキュラム・マップ」「カリキュラム・ツリー」は大学ホームページにも掲載している。</li> </ul>
「カリキュラムマップ」や「カリキュラムツリー」が、教職員間のコミュニケーションツールとして活用されているか	<p>学部（毎年）</p>	<p><b>【両学部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「カリキュラムマップ」や「カリキュラムツリー」を含めた教学マネジメントに関する FD・SD を実施。</li> </ul>
必修科目が適切に設定され、学生が同時に履修する授業科目数が適切に絞り込まれているか	<p>学部（毎年）</p>	<p><b>【両学部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目の設定は DP に基づいた「カリキュラムマップ」に準じて設定。</li> <li>・キャップ制の維持については継続的に点検している。</li> </ul> <p><b>【看護学部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「保健師助産師看護師学校養成所指定規則に沿って必修科目及び選択科目が構成されており、年次毎にバランスよく配置し、基礎から応用と段階的に履修できるように適切に設定。</li> </ul>
個々の学生の希望や学修の達成状況の確認を促すなど、将来を見据えたきめ細かな履修指導が行われているか	<p>学部（学期ごと）</p>	<p><b>【経営法学部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学務委員会において、各学期始業ガイダンスで成績不審者を対象に履修指導を行っている。</li> <li>・探究の基礎および専門演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの担当者が、ゼミ生に対し個人面談を課し、学生の学修状況に合わせた指導を行っている。</li> </ul> <p><b>【看護学部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスアドバイザーが、学期ごとの GPA・単位取得状況をチェックし、個別にきめ細かく履修指導を実施。</li> </ul>

	密度の濃い主体的な学修が可能となっているか	学部(毎年)	・学生の主体的な学修を促進するために、シラバスに事前・事後課題を示している。また、授業の展開では様々なアクティブラーニングを実施。
	学位プログラムレベルにおいて、シラバスに記載すべき項目の設定や「卒業認定・学位授与の方針」と各科目の到達目標の関係が検証されているか	学部(毎年)	【経営法学部】 ・2023 年度、学務委員会においてシラバスの記載項目について検証した。また、各科目の到達目標は、DP に対応させて記載するよう手引きに示されているため、カリキュラムマップを通じて DP ごとに集約し、カリキュラム検討委員会において、DP と各科目の到達目標の関係を検証した。 【看護学部】 ・新たなシラバス作成手引き(2023 年度改正)にある「成績評価の基準および評価方法」には、DP に基づいて設定した到達目標と照らし合わせて記載するようになっていることから、次年度以降で検証予定。
授業科目	シラバスは、学位プログラムの「卒業認定・学位授与の方針」における当該授業科目の位置付けや他の授業科目との関連性を明示しているか。また、学生が事前準備のための学修や事後の発展的な学修を主体的に行う上での指針となっているか	学務委員会(毎年)	【両学部共通】 ・手引き p2-3 には、「教育目標の関連」「科目の位置づけ」の留意事項・記載例が掲載されており、シラバス作成時には確認して記載している。 ・シラバスには、授業の各回に予習・復習について記載されており、学生の自主学習の指針となっている。

<b>テーマⅢ</b>	<b>学修成果・教育成果の把握・可視化</b>		
実施目的	学修者本位の教育の観点から、学生が自らの学修成果として身に付けた資質・能力を把握できることが重要であり、また、大学の教育活動を学修目標に則して適切に評価し、教育改善につなげるために、学修成果・教育成果を適切に可視化する必要がある。		
レベル	評価項目	評価	
大学全体	成績評価に関する全学的な基準を策定・公表しているか	学務委員会(5年)	【両学部共通】 ・成績評価ガイドライン(2023 年度)を策定し、公表(教員ポータルサイト)。

	GPAの算定方法や分布状況を公表されているか	学務委員会(毎年)	【両学部共通】 ・HP および学生便覧にて公表。
	学修成果・教育成果の把握・可視化の仕組みが構築されているか	教学マネ委員会(毎年)	・ 教学マネジメント委員会において、学修ポートフォリオに関する基本方針を決定し、教学システム更新に合わせて 2026 年度からの運用を決定 ・ 卒業時にディプロマサブリメントを交付
	「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力の修得状況をまとめて卒業時に提供しているか。学生の学修成果を社会に対して示しているか	教学マネ委員会(卒業時)	・卒業時にディプロマサブリメントを交付 ・HP に学生の GPA、資格・免許等取得状況、授業評価アンケート結果、学習成果アンケート結果、就職状況、学生海外派遣などを公表
学位	各授業科目において、成績評価基準を踏まえた成績評価が行われているか	学務委員会(学期ごと)	【両学部共通】 ・各科目の成績評価基準はシラバスに明記されており、それを踏まえ担教員の責任において実施。
	アドバイザー等によるきめ細かな履修指導や学修支援が行われているか	学部(学期ごと)	【経営法学部】 ・1 年生は入学後のオリエンテーションにおいて、その他の学年はガイダンスにおいて履修指導を行っている。 ・修学状況が思わしくない学生に対しては、学務委員・学務課が履修相談を実施。 ・ゼミ担当教員が個別面談を行い、必要に応じた学習支援等を実施。 【看護学部】 ・1 年生は入学後のオリエンテーションにおいて、その他の学年は各学期始めのガイダンスにおいて履修指導を行っている。 ・修学状況が思わしくない学生に対しては、クラスアドバイザーが履修相談を実施。
	教員間で成績評価結果の分布等に関する情報が共有され、これに基づくFD・SD等が実施されているか	学部、FD 委員会(毎年)	【経営法学部】 ・学務委員会・教授会において、当該年度前学期の各科目の成績分布について確認を行った。しかしながら、分析結果に基づく FD・SD 等の実施については検討されていない。 【看護学部】

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営法学部と同様</li> <li>・2023 年度・2024 年度看護学部前学期全科目の成績評価分布が看護学部教授会にて公開され、各教員が担当する科目についてガイドラインに沿っているかの確認がなされた。後学期の科目については、まだ公開されていない。成績付与については教員裁量で各自が認識すべきとのことで、これに関する FD は実施していない。</li> </ul>
	「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力の修得状況を学生に在学中及び卒業時に提供しているか	学部、教学マネジメント委員会(学期ごと)	<b>【両学部共通】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業時には、ディプロマサブリメントとして提供。</li> <li>・在学中については、2026 年度に導入を予定している学修ポートフォリオの策定に先立って一部の学年で暫定版を用いて提供。</li> </ul>
	「各授業科目における到達目標の達成状況」、「学位の取得状況」、「卒業論文・卒業研究の水準」、「アセスメントテストの結果」、「語学力検定等の学外試験のスコア」、「資格取得や受賞、表彰歴等の状況」等を把握しているか	学部、教学マネジメント委員会(卒業時)	<b>【経営法学部】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目について担当委員会にて把握はしているが、全体での共有については学修ポートフォリオの策定にて対応していく。</li> </ul> <b>【看護学部】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「各授業科目における到達目標の達成状況」「卒業論文・卒業研究の水準」は、各授業科目の評価基準によって把握。「学位の取得状況」は卒業判定会議において把握。その他、資格取得・表彰等についてはディプロマ・サブリメントの記載によって把握。</li> </ul>
	「学生の成長実感・満足度」を把握しているか	学部、教学マネジメント委員会(毎年)	<b>【経営法学部】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年度末におこなわれる学修成果アンケート結果を教授会において報告している。</li> </ul> <b>【看護学部】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学期の GPA 及び 1 年次と 3 年次に実施の GPS アカデミックの結果に基づく面談により学生の成長実感・満足を把握。また、臨地実習における成長実感・満足度については、「臨地実習の学びの記録」により把握</li> </ul>
	「進路状況(進学率や就職率等)」、「修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年率、中途退学率」、「学修時間」等を把握しているか	学部(卒業時)	<b>【経営法学部】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「進路状況(進学率や就職率等)」はキャリア支援委員会及びセンター、「修業年限期間内に卒業する学生の割合」・「留年率」は学務委員会、「中途退学率」は学修支援センター、「学修時間」は授業評価アンケートにて把握している。</li> </ul> <b>【看護学部】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア支援センターが「進路状況(進学率や就職率等)」を詳細に把握</li> </ul>

			し、教授会等で共有。「修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年率、中途退学率」については、学務課が把握。「学修時間」については、GPS アカデミック実施結果から把握。
	「卒業生に対する評価」、「卒業生からの評価」を把握しているか	学部、キャリア支援委員会(毎年)	【両学部共通】 ・キャリア支援委員会が卒業生を対象にアンケートを実施し、その結果を教授会で共有。
授業科目	「卒業認定・学位授与の方針」を踏まえて設定された個々の授業科目の到達目標を、学生が達成できているか	学務委員会(毎年)	【両学部共通】 ・成績評価基準に基づき評価し、概ね達成。
	成績評価が適正に行われているか	学務委員会(毎年)	【両学部共通】 ・各教員が成績評価ガイドラインに基づき評価を実施。 ・成績評価の分布状況を各担当者が自ら点検実施。 ・2024年度は学務委員会にて各科目の成績分布を確認済。必要時担当教員に成績評価の平準化を図るよう申し入れを行う予定。 ・成績評価に対する学生からの異議申し立てを学務課で受け付け、担当教員が対応。
	授業評価アンケートの結果を授業改善に活用しているか	学務委員会(毎年)	【両学部共通】 ・授業評価アンケートに対する教員のコメントを学生にフィードバックしている。

<b>テーマⅣ</b>	<b>教学マネジメントを支える基盤(FD・SDの高度化、教学IR体制の確立)</b>		
実施目的	「卒業認定・学位授与の方針」に沿った学修者本位の教育を提供するため、「望ましい教職員像」に対応した適切なFD・SDを組織的に実施する。また、FD・SDは、学修成果・教育成果の把握・可視化により得られた情報の共有、課題の分析、改善方策の立案等、教育改善につながる活動としても位置付けられる。一方、教学IRは、教学マネジメントの基礎となる情報の収集に不可欠であり、教学IRに必要な体制整備を進めることが必要である。これらのことを踏まえて、FD・SDや教学IR体制が確立されているかを評価する。		
レベル	評価項目	評価	
大学全体	教育理念や「卒業認定・学位授与の方針」を踏まえ、本学が目指す教育を提供	教学マネ委員会(5年)	・「望ましい教職員像」について、年度当初の辞令交付式において全教員で共有

するために望ましい教職員像を明らかにしているか		
望ましい教職員像はFD・SDを通じて共有され、関係者間で共通理解が構築されているか	教学マネ委員会(毎年)	・「望ましい教員像」のための教員研修会を開催
組織的かつ体系的なFD・SDを学内で継続的に実施するため、FDの企画・立案・実施に必要な能力を身に付けた専門人材(ファカルティ・ディベロッパー)の確保・育成を進めているか	教学マネ委員会(毎年)	・FD 委員会における FD の企画・立案・実施にファカルティ・ディベロッパーが中心的役割を果たしている
教職員がFD・SDに意欲的に参加できる環境が整備されているか	教学マネ委員会(毎年)	・教員業績評価においてFD・SD参加を評価 ・参加しやすい教授会後などに開催 ・やむを得ない事情で参加できない教職員のためオンデマンド動画を配信
新任の教員や実務経験のある教員に対して、大学教員に求められる基礎的な知識・技能や学位プログラムを担う教員として望ましい資質・能力を身に付けるためのFD・SDは実施されているか	教学マネ委員会(毎年)	・年度当初の辞令交付式において「建学の精神」、「教育方針」などを共有 ・新任教員ガイダンスを実施
学生FD活動が活発に実施されているか	教学マネ委員会(毎年)	・学生FD座談会を実施し、「FD活動報告書」にて内容を報告
シラバス作成に関するFDが企画・実施されているか	教学マネ委員会(毎年)	・2024年度はシラバス作成に関するFDは未実施であり、今後適切なシラバス作成のための取組を確立する。
教学IRが整備され、活用されているか	教学マネ委員会(毎年)	・教学に関するデータの整備と活用をIRの中心として、教学マネジメント委員会において検証し、教授会において共有

	学内規定に基づき教学IRが実施されているか	教学マネ委員会(毎年)	・ IR 規程に則った教学 IR の活用を実施
学位	教職員の経験等に応じた体系的な FD・SD の機会が提供されているか	学部(毎年)	【経営法学部】 ・新たに着任した新入教員に対してフォローアップ研修会を実施している。その他の教員に対しては、FD 委員会が企画した各種研修会への参加を促している。 【看護学部】 ・FD 委員会企画の FD 研修会に教授会等で教員の参加を促進。実習委員会では実習指導力の向上を目的に、研修テーマのニーズ調査を基に2回/年の研修会を実施。
	学生個人の学修成果の把握方法などに関する FD・SD が実施されているか	学部(毎年)	【両学部共通】 ・2023 年度に3回教学マネジメントに関するFD研修会を実施し、学修成果の把握方法等についても他大学事例等を通して共有している。 【看護学部】 ・GPS アカデミックの結果については、学務委員会が解説の機会を設定。学生個人の学修成果の把握方法などに関する FD については今後検討が必要。
	学修成果・教育成果の把握に必要な情報や要望が IR 部門へ適切に伝達されているか	学部(毎年)	【両学部共通】 ・IR 部門として要望に対応する窓口を設置している。 ・IR 部門へ学修成果等アンケートの結果を共有している。
授業科目	教職員が FD・SD へ積極的に参加しているか	FD 委員会(毎年)	・全学 FD 研修会 2 回、学部別研修会は経営法学部 1 回・看護学部 2 回、SD 研修会 1 回実施した。年間、上記いずれかの教員研修会参加率は、経営法学部 78.1%、看護学部 100%だった。
	教学 IR 情報を授業改善に活用しているか	教学マネジメント委員会(毎年)	・教学 IR 情報に基づき、3ポリシーを起点とした教学の点検・評価を行い、教授会において共有した。

テーマV	情報公表※情報公表については随時公開しており、現時点(9月21時点)の状況を示す。
実施目的	大学は、学生や学費負担者、入学希望者等の直接の関係者に加え、幅広く社会に対して積極的に説明責任を果たしていくことが必要であり、大

レベル	評価項目	公表状況	
	学教育の質の向上という観点からも、情報公表には重要な意義がある。社会からの評価を通じた大学教育の質の向上を進めるためにも、情報の公表が積極的に進められているかを評価する。		
大学全体	授業科目における到達目標の達成状況は公表されているか	法人本部(随時)	・GPA の分布状況(済)
	学位の取得状況は公表されているか	法人本部(随時)	・卒業・修了者数(済) ・自己点検・評価報告書(自己点検評価委)(12月公表予定)
	学生の成長実感・満足度は公表されているか	法人本部(随時)	・学習成果等アンケート集計結果(教マネ)(済) ・学生満足度アンケート(学務課)(済)
	進路の決定状況等、卒業後の状況(進学率や就職率等)は公表されているか	法人本部(随時)	・進学および就職状況一覧(総務課)(済 就職率:情報公開ページ) ・卒業生進路状況、就職分類・産業別就職者(キャリア支援課)(済 就職先:デジタルパンフレット) ・自己点検・評価報告書(自己点検評価委)(12月公表予定)
	修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年率、中途退学率は公表されているか	法人本部(随時)	・卒業する学生の割合、留年率、中途退学率(総務課)(済)
	卒業論文・卒業研究の水準、取り組んだ研究テーマ、成績評価の平均値や分布は公表されているか	法人本部(随時)	・シラバス(学部)(済) ・GPA 分布状況(学務課)(済) ・特別研究のテーマ(学務課)(12月公表予定)
	語学検定等の学外試験の学生の受験状況や結果は公表されているか	法人本部(随時)	・資格・免許取得状況一覧(学務課)(済) ・自己点検・評価報告書(自己点検評価委)(12月公表予定)
	資格取得や受賞、表彰歴等の状況は公表されているか	法人本部(随時)	・資格・免許取得状況一覧(学務課)(済)
	勤務先等の卒業生に対する評価は公表されているか	法人本部(随時)	・卒業後のアンケート調査(キャリア支援課)(済)
	卒業生からの評価は公表されているか	法人本部(随時)	・卒業後のアンケート調査(キャリア支援課)(済)

入学者選抜の状況は公表されているか	法人本部(随時)	・入試種別・概要(入試広報課)(済)
教員一人あたりの学生数は公表されているか	法人本部(随時)	・学生数に関する情報(総務課)(済)
学事暦の柔軟化の状況は公表されているか	法人本部(随時)	・学事暦(学務課)(済) ・秋季入学状況(学務課)(未)
履修単位の登録上限設定の状況は公表されているか	法人本部(随時)	・GPA 制度、CAP 制等の取扱い要項(学務課)(済)
授業の方法や内容・授業計画(シラバス)は公表されているか	法人本部(随時)	・シラバス(学部)(済)
FD・SDの実施状況は公表されているか	法人本部(随時)	・自己点検・評価報告書(自己点検評価委)(12月公表予定)
GPAの活用状況は公表されているか	法人本部(随時)	・GPA について(学務課)(済) ・GPA 分布状況(学務課)(済) ・GPA 制度・CAP 制等の取扱い要項(学務課)(済)
カリキュラムマップ、カリキュラムツリー等は公表されているか	法人本部(随時)	・カリキュラムマップ(学部)(済) ・カリキュラムツリー(学部)(済)
教員の業績評価の状況は公表されているか	法人本部(随時)	・教員実績報告書(学務課)(未)
教学 IR の整備状況は公表されているか	法人本部(随時)	・学校法人青森田中学園 IR 活動報告書(企画課)(済)

2024 年度報告を踏まえた改善事項について

テーマ	レベル	評価項目	改善事項	対応方針
Ⅲ. 学修成果・教育成果の把握・可視化	大学全体	学修成果・教育成果の把握・可視化の仕組みが構築されているか	学修ポートフォリオが未完	2026 年度運用開始に向けて検討を進めている。
	学位	教員間で成績評価結果の分布等に関する情報が共有され、これに基づくFD・SD等が実施されているか	成績評価の分布状況は共有されているが、成績評価の分布に関するFDが実施されていない	FDの実施を必須にするかは次年度に向けて要検討。
		「各授業科目における到達目標の達成状況」、「学位の取得状況」、「卒業論文・卒業研究の水準」、「アセスメントテストの結果」、「語学力検定等の学外試験のスコア」、「資格取得や受賞、表彰歴等の状況」等を把握しているか	各項目について担当委員会にて把握はしているが、学部全体で共有するまでには至っていない	「各授業科目における到達目標の達成状況」、「卒業論文・卒業研究の水準」 →各授業にて把握済 「学位の取得状況」 →卒業判定会議把握済 「アセスメントテストの結果」 →教マネ委員会の教育課程の検証にて把握し、教授会等で共有 「語学力検定等の学外試験のスコア」 →学修ポートフォリオ 「資格取得や受賞、表彰歴等の状況」 →学修ポートフォリオ
Ⅳ. 教学マネジメントを支える基盤(FD・SDの高度化、教学IR体制の確立)	大学全体	シラバス作成に関するFDが企画・実施されているか	シラバス作成に関するFDが未実施	シラバス作成に関するFDはマニュアル等も整備され必要性が薄れてきたため、本評価項目の見直しを検討する。場合によっては削除も検討。

	学位	学生個人の学修成果の把握方法などに関するFD・SDが実施されているか	学生個人の学修成果の把握方法などに関するFDが未実施	学修ポートフォリオ導入のタイミングでFD研修会を実施する。毎年度実施するかは要検討。
--	----	------------------------------------	----------------------------	--